

女子野球部員倍増 栗山高に活気



道内外から1年生16人入部

【栗山】栗山高女子硬式野球部（金由起子監督）に本年度、1年生16人が入部した。部員数は2年生と合わせ計31人と倍増。新チームの初練習となった8日、グラウンドは選手たちのはつらつとした掛け声が響き、活気にあふれた。

新入部員の出身地は、岩見沢や小樽、函館、釧路など道内12人、東京など関東が4人。野球経験者が揃い、岩見沢出身者を除く15人が町内の同じ下宿施設に入居して高校生活を始めた。

新チームの初練習は入学式後の8日放課後。選手たちはランニングやトスバッティング、守備練習など約2時間の練習に汗を流した。1年生たちは「雰囲気明るく練習しやすい」「先輩のプレーを見習いたい」

栗山高女子硬式野球部に新戦力として加わった1年生部員たち。1人はけがで休養中で、15人がグラウンドにそろった

来月11日リーグ開幕 初戦は駒苫高

「チームに早く溶け込みたい」などと抱負を語る。栗山高と町は生徒数を増やそうと、2年前に女子野球元日本代表選手の高監督を招き、女子野球同好会を発足。昨年度から女子野球部として活動している。昨年度は入学生徒50人のうち15人、本年度は同49人のうち16人を女子野球志願者が占め、1学年2間口（定員80人）の維持に貢献している。

昨年度に道内外の中学校を回り、入部志望者を募った金監督は「のびのびと練習に励む1年生が集まった。成長が楽しみ」と喜ぶ。

新チームで挑む初の公式戦は5月11日に開幕する北海道リーグ（北海道女子硬式野球連盟主催、7月7日まで）。社会人と大学、栗山高を含む4高校の計6チームのリーグ戦で、栗山高は初戦、苫小牧市内で駒苫小牧高と対戦する。主将の沢田芽依さん（2年）は「部員数が倍になったチームをしっかりまとめたい。公式戦では、がむしゃらに勝ちにこだわりたい」と意気込んでいる。

（山本忠彦）